



OB会 新春ご挨拶

コマツ大阪工場
工場長

新年あけましておめでとうございます。

いつもOB会の皆様に多大なご支援をいただき、改めまして御礼申し上げます。

本年も何卒ご健勝で、変わらぬご支援ならびに現役社員への叱咤激励を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。

大阪工場も創立73周年となり、今年も無事に新しい年を迎えることができたことを大変喜ばしく思っております。念頭にあたり、ご挨拶申し上げます。



谷川 徳彦

昨年は、コロナウイルス感染症の影響もほとんどなく、いろいろな活動を活発に実施できるようになった1年でした。秋には、盛大に事業所フェアを開催でき、大勢のOBの方や地域住民の方にも参加していただきました。今年は、大阪工場にとってさらに飛躍した年にしたいと思います。

さて、大阪工場の近況ですが、まずは安全についてです。2022年から急激に増えた災害に対し、各種対策を実施し、昨年度はある程度災害件数を抑えることができました。しかしながら、今年度は3Qに災害が立て続けに3件も発生し、すでに昨年度より多くの災害が発生している状況です。「自分の身を守る、仲間からケガ人を出さない」を宣言し、引き続き全員参加で気がかりな作業や、状態、姿勢を撲滅し、ハード対策を先取りした対策を継続実施していきます。

また、1昨年ルールアセスメントを取り入れましたが、いまだ多くの災害がショートカット等、ルールを守っていないことが起因になっています。社員全員が守りにくいルールをより安全に守りやすいルールに改定していくことで、さらに災害の発生しない現場環境作りを地道に推進していきます。

次にコマツの経営状況についてですが、2024年度の上期も、引き続き史上最高の売上、利益を更新いたしました。円安の影響による好業績でもありますが、これもひとえにOB世代の皆様が築いてきた土台があり、それに加えて現役世代の頑張りによって達成できたと思っています。2025年度は、コンストラクション市場は世界的にかなり厳しい状況になってきています。マイニング市場もすこずつ陰りが見えてきており、先行きは非常に厳しいと予測しています。そのような状況ですが、コマツにはまだ成長できる余地があると思っています。

特に大阪工場の主力製品である大型ブルドーザ・大型HEは、まだまだグローバルに拡販が可能です。中型HEは、中国建機メーカーの台頭が著しい中ではありますが、クロスソーシングをさらに発展させ、地産地消のマルチソース体制となりました。新機種のPC200i-12型の導入や2ライン戦略のPC200CE、ハイブリッド車の拡販、WG製品の解体・産廃分野への販売強化、スマートコンストラクションを武器にモノとコトで顧客価値を向上させるブランドマネジメント等、社員一丸となって頑張りたいと思っています。

我々コマツを取り巻く経営環境は刻一刻と変化していきますので、状況の変化に応じて、フレキシブルに対応できる体制を築き、現時点の結果に慢心せず、サステナブルに成長していきたいと思っています。

最後に、2022年度から再スタートした工場再編についてです。今年度は建機第4工場の解体も完了でき、中型HEの新板金・塗装工場の建設がはじまりました。また、コンポ組立工場は、年明けから最新のAGVを活用したDX工場化へと改善・改革が始まります。

昨年オープンした安全伝承館、品質道場・からくり展示、デモエリアは、おかげさまで各ステークホルダーの皆様にも有効活用いただいております。大盛況の状況です。築80年を経過した工場は老朽化が著しく、引き続き建機第3工場の建屋更新を進めたいと思います。そのために新しく大型ブーム生産工場を六甲工場に、大型スイングサークル工場を建機第7工場横に建設することを進めています。

大阪工場は、C/N（環境）とDX（IoT・自動化、顧客現場とのつながる化等）を備えたダントツの生産性・競争力をもつ次世代工場を目指していきます。

さすがコマツと言われるような工場を社員一丸となって作りあげていきたいと思っていますので、皆様のご都合があれば、是非とも大阪工場に来工して頂き、状況など確認していただければ幸いです。

末筆になりましたが、皆様とご家族のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

<以上>